

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
平成 29 年度第 7 回理事会議事録

開催日時： 平成 29 年 10 月 29 日（日）15 時 00 分～18 時 00 分
開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）
出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、
萱場広之理事、澤部祐司理事、谷直人理事、萩原三千男理事、
日高洋理事、白井秀明監事、村上正巳監事
欠席者： 通山薫理事、和田隆志理事、栢森裕三監事

議題 1. 理事長挨拶

康東天理事長より、第 7 回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。第 49 回大会が多くの方に参加いただき無事に開催された。この間、①市民公開講座に関して和田先生と協議した、②JACLaS との共催シンポジウムに関する支払いについて議論したことが報告された。

議題 2. 総務報告

横田副理事長より、資料 1 に基づいて以下の 2 点が報告された。

(1) 第 49 回大会関連の報告

学術大会参加者数は 2,651 名（一般：2,504 名、功労 9 名、学生 138 名）、展示会来場人数は 7,785 名であった。ランチョンセミナーに対する開催企業へのアンケートで“23 日（土）の来場者が少なく費用対効果が低い”との意見に対して、ランチョンセミナー開催を希望する企業数・学会プログラム割り・会場の大きさ等との関連を審議したが、同じ日に開催したセミナーで多数来場のセミナーもあることから、企画内容による結果との見解とした。

(2) JACLaS 共催シンポジウムの経費

シンポジウムの共催負担金(2,586,000 円)の内、JACLaS が既に支払っている分(55 万円)を差し引いて、残額を折半するとの報告があった。康理事長から追加発言があり経費折半に関わる事項で、①学会から JACLaS 会員各社に配布している参加証分の扱い、②来年度以降の共催シンポジウム経費の取

り計らい、について JACLaS と協議する予定との説明があった。

議題 3. 学術委員会担当理事からの報告

日高理事より、資料 2~14 に基づいて報告があった。各委員の追加については満場一致で認められた。

- (1) 遺伝子委員会 (委員追加)
- (2) 医療情報委員会 (委員追加)
- (3) POC 委員会 (委員追加)
- (4) 編集委員会 (委員追加、委員長交代)

・委員長交代の件は、細萱委員長から萱場理事を委員長とすることが満場一致で認められた。任期は来年の 1 月 1 日からとする。

- (5) 議事録報告 (学術委員会委員長会議、微生物・感染症委員会、血液検査機器技術委員会、POC 技術委員会、遺伝子・プロテオミクス技術委員会、医療情報委員会、科学技術委員会、拡大編集委員会)

・技術セミナーは、例年と開催曜日等の変更があり参加者数への影響を審議した。血液検査機器技術セミナー以外の参加者数は、昨年と同等あるいは増加していた。血液検査機器技術セミナーの参加者数が少なかったことは、委員会にフィードバックし検討を要請することとした。

・各委員会の委員に関して、定年を迎えた委員はオブザーバーとすることを再確認した。

・なお、議事録の一部に不備が認められたので訂正した上で、1 週間以内に他に意見がなければ承認することとした。

議題 4. 遺伝子委員会補冊アマゾン売買契約について

横田副理事長より資料 15 に基づいて、本年度に編集制作した補冊を、学会員以外の一般向けに販売するため、アマゾンにて販売することについて審議した。本会と(株)学研メディカル秀潤社とで「オンデマンド出版許諾覚書」契約をとりかわし、アマゾンにて販売した入金額の 10%を本会に支払う契約で販売することを承認した。

議題 5. COI 委員会報告

谷理事より、COI について資料 16～24 に基づいて説明があった。細則の一部に不備および文言の不統一が認められたため、これを訂正した上で改定内容を承認することとした。

議題 6. 第 50 回大会に関して

通山理事が欠席のため、次回理事会にて審議することとした。

議題 7. 名誉会員、功労会員の HP 掲載方法について

横田副理事長より、資料 27 に基づいて説明があった。名誉会員および功労会員は終生称号であり退会の概念はなく、本会名簿には記録として残し続ける。HP および学会誌への掲載については、逝去した名誉会員、退会した功労会員は掲載しないこととした。

議題 8. G-system 進捗報告

萩原理事より、以下の進捗および開発予定の報告があった。

- ・ 2017 年 10 月 6 日(金) : ジーイングス(前田氏)と機能や進捗について協議
2017 年 10 月 : 並行稼働開始
- ・ 2018 年 1 月 16 日(月) : 本番運用開始
2018 年 1 月下旬 : 会員に ID・パスワードを発送
- ・ 2018 年 2 月頃 : 年会費請求書と会員証を発送
- ・ 2018 年 4 月頃 : 第 50 回大会演題登録・事前登録開始

本システムの開発ポイントは、まず会員管理機能(年会費入金機能を含む)を確実に稼働させる。その後に学会支援機能等を立ち上げることとする。

議題 9. 新システムへの切り換えに伴う会員証の発行について

横田副理事長より、資料 28 に基づいて会員証のサンプルについて説明があった。現状、会員証は事務所で作成の予定だが、会員証の材質・大きさ、作成経費、運用面について、外部委託した場合も含めて情報を収集し、次回理事会にて再度審議することとした。

議題 10. 市民公開講座開催の案内について

康東天理事長より、新たな取り組みとして市民公開講座を開催することとし、第1回を東京大学医科学研究所の協力により開催する旨の説明があった。

議題 11. その他

以下の事案について説明があった。

- (1) 保健医療福祉情報システム工業会からの新規文書の作成について（NTT データから依頼）
康東天理事長から、JAHIS の役員から本会と一緒に指針的なものを作成したいとの話があり、11月の日本臨床検査医学会(京都)にて直接詳しく説明を聞く予定である旨の報告があった。
- (2) 日本学術会議協力学術研究団体の認定について（資料 29）
横田副理事長より資料 28 に基づいて、本団体の認定を得ることはメリットがあり申請したい旨の説明があった。申請には、研究者が会員の 50%以上である要件があるが、特に問題にはならないと思われるため申請することとした。
- (3) 転載許諾申請（資料 30～31）
申請内容に特に問題はなく、申請通り承認した。
- (4) 次回の理事会開催日程（資料 32）
今回は、平成 30 年 1 月 28 日(日) 15 時 00 分～18 時 00 分・本会事務所とした。次に資料 32 に基づいて、平成 30 年度の理事会開催日を調整した。
- (5) 追加議題として、康東天理事長から以下の提案があった。
 - ・新たな人材発掘のため、各地域担当理事が地域ごとに適任者がいれば理事会の折に報告・確認することとした。
 - ・今後、新たな取り組みとして、各地域で 2 年に 1 度ぐらいの頻度で地域シンポジウム（講演会）の開催を目指す旨の説明があった。
 - ・生理検査委員会(仮称)の立ち上げに向けて、委員候補者を各地域から地域担当理事がリストアップし、次回の理事会にて議論することとした。

以上

平成 29 年 2 月 2 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長 康東天 

議事録署名人
(出席監事)

白井 秀明



議事録署名人
(出席監事)

村上 正巳

